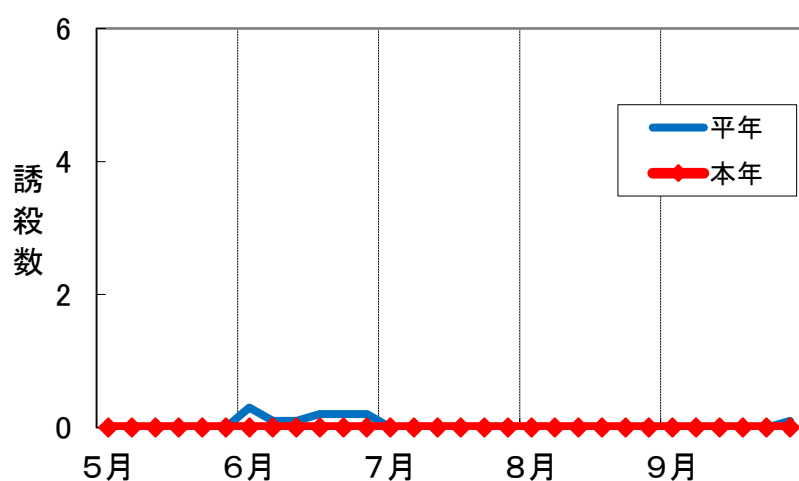


フェロモントラップによるニカメイガ雄成虫の誘殺消長

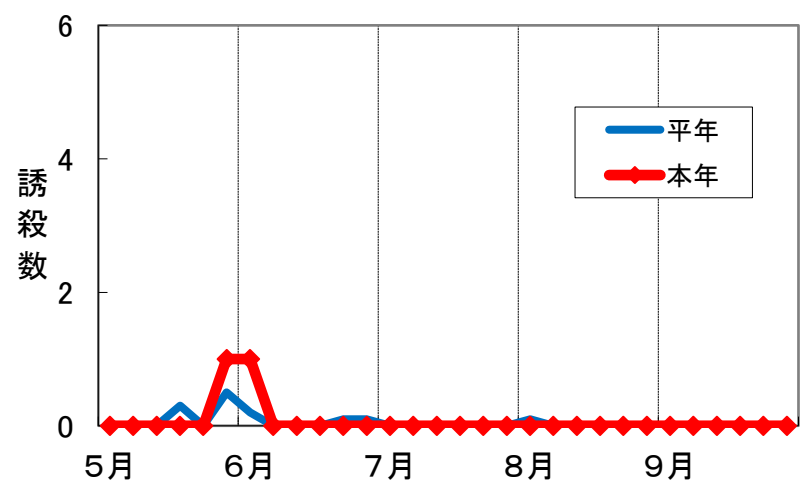
【令和7年(2025年)】

- ・ 須坂市では、5月第1半旬から9月第6半旬にかけて、誘殺されませんでした。
- ・ 小布施町では、5月第6半旬に1頭初誘殺、6月第1半旬に1頭誘殺されました。以降、9月第6半旬まで誘殺されませんでした。

【須坂市小河原における誘殺状況】



【小布施町における誘殺状況】



※須坂市小河原（農業試験場環境部調査）、小布施町（農業試験場病害虫防除部調査）において5月～9月まで半旬ごと誘殺数をカウント。フェロモントラップの種類はファネル式トラップ使用。

【参考】

1 発生生態

- (1) 本県におけるニカメイガの発生は、年2回の地域と年1回の地域があります。
- (2) 成虫の発生時期は地域によって異なりますが、北信の常発地帯では越冬世代は平年では5月中旬頃から発生し、6月上旬に発生の最盛期となります。
- (3) 上のグラフは雌の性フェロモンに誘引された雄の成虫数です。

2 防除対策

- (1) 多発地域では稈の太い品種の栽培をさける。
- (2) ニカメイガに効果の高い苗箱施薬を使用する。
- (3) 第1世代幼虫の防除は6月下旬頃、第2世代幼虫の防除は8月上旬頃です。